

矯正施設の防水改修工事による防水機能の強化

5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

概要: 金沢刑務所の拘置棟は屋上の劣化が著しく進行していたところ、防水改修工事により、令和7年8月に発生した豪雨の際も雨水浸水等の被害は生じず、職員等が安全に業務を継続することができた。

対策名: 27 矯正施設の防災・減災対策<5か年加速化対策>【法務省】

■ 実施主体: 法務省(金沢刑務所)

■ 実施場所: 石川県金沢市

■ 事業概要:

屋上防水層の亀裂や欠損等により、降雨時に浸水被害のおそれがあり、施設の保安性能の維持及び職員等の安全確保に支障を来す可能性があったことから、浸水被害の防止を目的として、拘置棟の防水改修を実施。

■ 事業費: 1,210万円(令和4年度)

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1,210万円)

■ 災害の外力、被害と効果:

本施設が所在する石川県金沢市は、日本海側特有の気象条件により、降水量が多い地域であり、令和7年8月6日から8日にかけて発生した線状降水帯の影響によって大雨・洪水警報が発令され、日降水量が330mmを超える記録的な大雨となった。

本件改修以前は、屋上の劣化が進行し、豪雨が発生した場合は雨水浸水による施設機能への影響が懸念されていた。

本工事の実施により、屋上の防水機能が十分に発揮されたため、豪雨時においても浸水被害が生じず、職員、被収容者等の安全が確保され、刑事施設として求められる保安性能を維持したまま、業務を継続することができた。

対策前



対策後

